

基底小体に DNA は存在するのか？

遠藤 浩, 長田 恵梨子

(金沢大・院自然・生命科学)

【要旨】 繊毛や鞭毛の基部は基底小体 (キネトソーム) と呼ばれ, 中心小体と同様の ”9+0” 構造からなるオルガネラである。20 世紀中葉以来, 独自の DNA あるいは RNA を内部に保持しているのではないかという報告がくり返しなされ, またその度に否定されてきた。近年, イトマキヒトデやコケ植物の精子中心体には PCR によって特異的に増幅する DNA が存在するという報告がなされている。これらの情報をもとに, ここではテトラヒメナの単離表層を手がかりに, 「基底小体に DNA はあるのか？」という古くて新しい問題を再考する。